



よこはましりつとよおかしやうがっこう  
横浜市立豊岡小学校

れいわ ねん がつ にち  
令和4年6月30日

# 学校だより

がっこう  
7月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/toyooka/>

TEL 045-581-3248

がっこうきやういくもくひやう  
学校教育目標：【学び合い 高め合い まちとともに明日を拓く豊岡っ子】

## スピーチで育つ力

こう ちやう なりた れいこ  
校長 成田 玲子

よこはましないうちがっこうでは、まいとし 5～6月に「横浜子ども国際平和スピーチコンテスト」に向けての取組が行われます。国際平和のための自分の考えや自分ができていることを言葉で表現することによって、平和のために自ら実践しようとする意欲や態度を育むことを目標としているもので、今年も、5・6年の各学級代表が、5月26日に行われたテレビ放送での校内スピーチコンテストに出場してくれました。

スピーチでは内容と表現の二つが特に大切になります。スピーチの内容面では、テーマに沿って資料を調べ、構成を考えて原稿を作成するわけですが、説得力をもたせるためにデータを取り入れたり、自分の考えを伝えるのによりふさわしい表現を吟味したりして、よりよい原稿に仕上げようと努力する姿が各学級で見られました。調べたことをただ羅列するのではなく、自分の言葉で表現する力は、これからの様々な学習にもきっと役立つことと思います。また、スピーチの表現の面では、原稿の内容が素晴らしくても、その表現の仕方（声の大きさ・抑揚・スピードなど）によっては思いが伝わりにくいことがあります。原稿を読むのではなく、説得力のあるスピーチにしていくことが必要です。「間」の取り方を工夫しようと意識していることも伝わってきました。説得力のあるスピーチができるようになると自信にもつながると思います。

鶴見区のスピーチコンテストは6月22日にサルビアホールで行われました。豊岡小は6年2組の酒井希愛さんが代表として参加しました。どの学校の代表もとても素晴らしいスピーチで、見ごたえ、聞きごたえのあるコンテストでしたが、その中で、酒井さんは見事最優秀に選ばれ、7月に行われる横浜市のスピーチコンテストに出場することになりました。市のスピーチコンテストでも自分の思いをしっかりと伝えられるよう応援したいと思います。



よこはまし子ども国際平和スピーチコンテスト  
区スピーチコンテスト参加者

## プレハブの家庭科室完成

ようやく家庭科室と渡り廊下が完成し、遊具の移設も終了しました。フェンスがなくなり、なんだか校庭が広がったように感じます。休み時間になると、まっすぐに遊具に走っていく姿が見られ、子どもたちの待ち遠しかった気持ちがよく伝わってきます。家庭科室は7月中に引越しを済ませ、2学期から使用を開始します。新しい家庭科室でもまた意欲的に学習に取り組んでくれることと期待しています。

